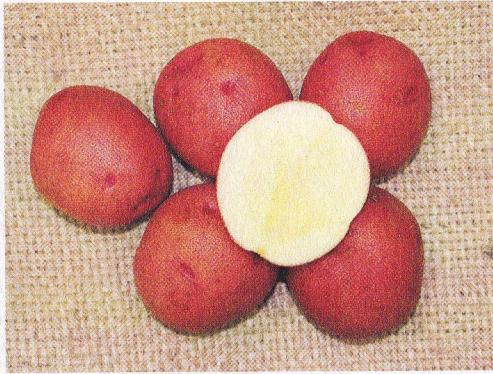
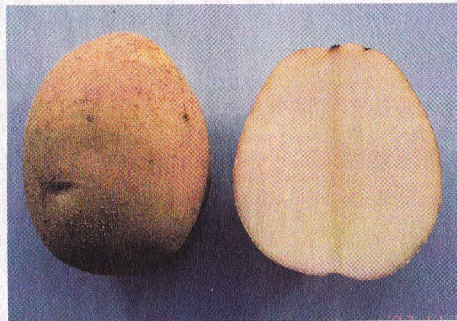


ジャガイモ品種大全



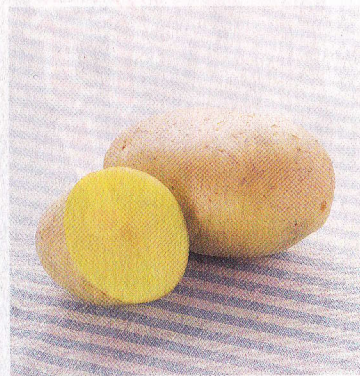
スタールビー

中生。赤皮で黄肉。中心空洞が発生しやすいため、浴光育芽で萌芽と初期生育を確保し、イモが急激に肥大するのを避けるために疎植・多肥は行なわない



スノーマーチ

中生。白黄皮で白肉。ソウカ病に対する抵抗性が強い。褐色心腐れや中心空洞が発生することがあるので、多肥や疎植を避ける



シンシア

中早生。栽培可能地域は広い。休眠が長いので芽が出始めていることを確認してから植え付ける

十勝こがね

早生。休眠期間が長く、貯蔵中の品質の低下が少ないが、植え付けるときは種イモの休眠明けを促進する

ホッカイコガネ

中晩生。皮をむいた後の褐変や調理した後の黒変が少ない。イモが長めで、焦げの原因となる糖含量も少ないことからフレンチフライに適する

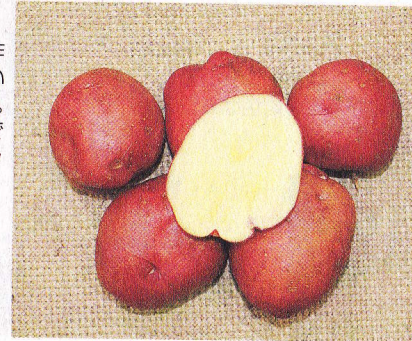
ムサマル

中晩生。大きいイモの割合が高い。デンプン価も高い。フレンチフライ用として育成された品種

ホクホク
煮くずれにくい
ジャガイモ

アンデス赤

中晩生。赤皮で黄肉。二期作栽培も可能。休眠期間が短いので長期貯蔵には向かない。内部異常が発生しやすいので疎植をさける。アンデスレッドともいう



ホクホク
煮くずれしやすい
ジャガイモ

男爵薯

早生。イモの早期肥大性があり、栽培適地が広い。大きいイモになると中心空洞が入りやすい。皮をむいた後の褐変が多い

ワセシロ

早生。イモの肥大が早く、早掘りで収量が多い。貯蔵中の乾腐病に弱い

キタアカリ

早生。一株当たりのイモ数やや多い。多肥にすると大きいイモの割合が増えるが、中心空洞が発生しやすくなる

デジマ

暖地二期作向け。中晩生。春作、秋作ともに多収。食味がよい。デンプン価が暖地向けとしては高い

普賢丸

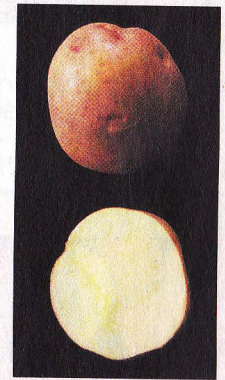
暖地二期作向け。中早生。イモの肥大が早く、特に春作での早期肥大に優れる。秋作での収量は「デジマ」より少ない。春作で収穫時期が遅れると高温障害を受けやすい

ベニアカリ

中生。赤皮で白肉。食用としてはデンプン価が高く、マッシュやコロッケに適するが、煮くずれしやすく、煮物には向かない

ジャガキッズ
パープル90

中生。紫皮で黄肉、維管束部分に紫色が輪状に入る。内部異常が発生しやすいので多肥、疎植をさける



さやあかね

中生。淡赤皮で黄白肉。エキ病に対する圃場抵抗性が高い。コロッケ適性が高い



チェルシー

早晩性。一株当たりのイモ数が多く、小イモだが収量は多収。フライに適する